

平成26年度 第5回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成26年12月16日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名
事務局 館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 8名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成26年度公民館定期講座実施状況・・・資料1
(2) 平成26年度公民館まつり・・・資料2
(3) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・・・資料3
(4) 東京都公民館連絡協議会 委員部会・・・資料4
(5) 平成26年度第55回関東甲信越静公民館研究大会・・・資料5
(6) 学習活動を通じて、地域づくりに貢献する公民館の今後の取組
について(諮問)・・・資料6
(7) 平成26年度第4回小平市公民館運営審議会会議要録・・・資料7
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成26年度 公民館定期講座実施状況について
(3) 平成26年度 公民館まつりについて
(4) なかまちテラス開館準備状況について
(5) 平成26年度 東京都公民館連絡協議会職員部会・委員部会報告につ
いて
(6) 平成26年度 第55回関東甲信越静公民館研究大会について
(7) 公民館のあり方検討状況について
(8) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 平成 25 年度決算の概要について

歳入…5,886,422 円（前年度比 1,489,201 円の増）

公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム委託金、施設使用料、コピー機・印刷機使用料等

歳出…385,626,082 円

195,489,531 円【職員の人件費を除く】（前年度比 2,053,122 円の減）

嘱託職員報酬、講師謝礼、消耗品・修繕・光熱水費、施設管理業務委託費、中央公民館ブロック塀改修工事等

(2) 12 月市議会定例会について

① 仲町公民館の建替えに伴う条例改正について

仲町公民館の位置が 521 番地から 145 番地に変更となる小平市立公民館条例の一部を改正する議案が、全会一致で可決された。

② 公民館に関連する一般質問について

・「行政財産の有効活用について」

仲町公民館の跡地の活用についての検討状況、また、跡地を売却した場合の試算額はいくらか。

（答弁）仲町公民館の跡地は、将来的に売却することを基本とし、その活用については、公共施設マネジメントの観点から検討する。売却した場合の試算額は、おおむね 1 億 7 千万円である。

・「仲町公民館跡地の今後について」

従来から売却の意向だが、現時点で市が想定している見通しはどうか。

（答弁）「仲町公民館・図書館建替えに係る方針」において、売却するとしており、将来的に売却することを基本として、公共施設マネジメントの観点から、今後の活用について検討する。

③ 組織改正について

総務委員会、生活文教委員会において、組織改正（案）について、審議されている。教育委員会に関するものとしては、文化や文化財に関すること、スポーツに関することを市長部局に移管する。この移管に伴い、教育委員会の組織から体育課が減となる。また、これまでの生涯学習・体育・図書館担当理事を地域学習担当部長に改め、生涯学習推進課を改編した地域学習支援課、公民館、図書館を担当する。よって、公民館の担任は、教育部長から地域学習担当部長に変更される。なお、生活文教委員会では、公民館・図書館についても市長部局に移管すべきと

の意見があった。

- 2 平成 26 年度 公民館定期講座実施状況について
事務局より資料 1 について説明した。

(質疑応答)

委 員 定期講座はどの講座もよくやっていると思うが、市の中でどのように評価されているか。

事 務 局 講座の受講率などについては、市の中では行政評価などにおいて評価されている。

委 員 満足度などの数値に出ないものはどうか。

事 務 局 講座終了後に、アンケートをとっており、常に次の講座に活かすようにしている。

委 員 要望として、パパママ世代、特にパパに対する PR をお願いしたい。また、大学との連携を期待している。

事 務 局 青年教室では、市内のブルーベリーリーグと講座を連携している。また、けやき青年教室では武蔵野美術大学とワークショップを行っている。大学との連携、父親への PR は今後も図っていく予定である。

委 員 長 ここ数年見てきているが、年々、地域の人を講師に選定したり、各分館の地域ならではの地域資源を活用して事業に取り組んでいると感じる。各委員からもあったが、今後も地域資源を活かす事業を継続してもらいたい。

委 員 10 月 1 日から試行された空き部屋の当日利用は怎么样了か？

事 務 局 開始後、2 ヶ月半が経過しているが、中央で 10 件程度、各分館は 0～5 件程度である。

委 員 定期利用団体の保育利用者から部屋割り調整会議に保育を付けてほしいとの意見を聞いたがいかがなものか。

事務局 必要性について検討はするが、現時点では考えていない。

3 平成 26 年度公民館まつり開催報告について

各委員から、分館の公民館まつり・中央公民館の秋のイベントを見学しての感想について発表した。

(感想、質疑応答)

委員 それぞれの公民館ならではの作品展示があった。小中学校との連携は、以前から聞いていたが、地域によっては、武蔵野美術大学、白梅大学と連携していた。展示が難しい山歩きの団体なども工夫して展示していたことが印象に残った。活動内容によらずどのような団体でも、参加できる公民館まつりになると良いと思った。

委員 中央公民館の音楽祭を見学したが、NPO、大学など市内で活動している団体をつなげていけば公民館がより良くなると思う。分館の公民館まつりの日程が全て違うのはなぜか。

事務局 いろいろな日程で開催することが良いのではないかと考えている。

委員 数館で同時開催することにより、より PR 効果があるのではないか。

事務局 まつりで使用する備品や事務局側と参加者側の人的な調整が難しいものと思われる。

委員 花小金井北公民館では、テントが軽くなり設営が楽になった。見学したどの分館も違って、参考になることがあった。鈴木公民館は 4 日間開催しており、実行委員は大変だと思ったが、各サークルの体験会は楽しめた。小川公民館では、N ゲージのサークルで子どもが多く来ており、サークルの人から、他の公民館でもやりたいとの話が聞けた。武蔵野美術大学のワークショップでも、子どもたちが楽しんでおり、大学との連携は良いと思った。中央公民館の音楽祭の片付けの場面を見学したが、いつもの顔ぶれと全く違って、普段公民館を訪れないような若い人など、いろいろな世代の人が集まっていた。来年以降も続けてほしい。

- 委員 ほとんどの公民館を見学したが、各館で趣向を凝らしていた。津田公民館のジャズコンサートに癒された。花小金井北公民館の講演会は日常生活の中で薄れていく、おもてなしを改めて学んだ。公民館まつりは、講座等の学習の成果を発表するものと思っていたが、地域住民との交流を深めるためにも、おまつりは重要と思った。鈴木公民館は4日間の開催で、実行委員を務めたが、子育て世代の人も積極的に参加してもらい、大変感謝している。
- 委員 小川公民館では、中学生の職場体験の受け入れがあり、生徒にとっては非常に良い経験となったと感じた。おまつりを見学していて、職員にいろいろ意見したが、「本当はこうしたい、ああしたい」などの話が聞けた。どの館も工夫しており、職員の熱い思いが感じられた。
- 委員 他の分館の嘱託職員も手伝いに来ていて、大変良いと思った。中央公民館のサークルフェアや音楽祭の職員体制はどうなっているのか。
- 事務局 サークルフェアや音楽祭などは、担当が中心となり事業担当全員で行っている。
- 委員 公民館の職員の苦勞が分かった。小平では、市民活動を行っていくための環境はできているので、方向付けやきっかけ作りができれば、より面白い市民活動が行われるのではないか。そこに公民館の役割が期待されており、その時期に来ていたとの印象を持った。特に、花小金井北公民館の医師の講演会の内容は、まさに地域と一体となったものであり、望ましい姿ではないかと思った。他館でも、地域の専門家、例えば認知症予防などの講師を招いて講演してもらえると良いと思った。定期講座などでも、終了後にその発表としてパネル展示などがあると良いと思う。そのようなフォローアップシステムがあると活かされると思った。先ほど他の委員からもあったが、音楽祭では、いつもとは違う顔ぶれがあり、そこに、公民館が活性化できるヒントが隠れていると感じた。
- 事務局 一年間の講座の成果発表については、学習成果発表展を毎年3月に行っている。今年度は、小平市公民館まつり（中央公民館）と合同で行う予定である。
- 委員 津田公民館や鈴木公民館のまつりを見学して、子どもを大事にすると子どもの親も参加すると思った。親の世代は公民館利用者より若い世代なので、異世代交流が豊かになると感じた。また、玉川上水の活動はまちづくりに通じるもので、公民館の役割にもつながるものと感じた。

委 員 サークルフェア、音楽祭の開催結果を知りたい。

事 務 局 サークルフェアは、今回で3回目となった。中央公民館で活動するサークルを紹介するイベントで、来場者が自分に合ったサークルを見つけてもらうことと、さらにそのためにサークル活動を体験してもらうことの二つの目的から、展示会と体験会を行っている。展示会は、44団体が参加、体験会には、31団体の参加があった。来場者数は、展示会については6日間で1,512人、体験会は2日間で726人であった。3年目ということで、充実した内容で開催できた。音楽祭は、実行委員が50人、ボランティアが81人参加し、来場者数は約2,000人であった。これまでにない大人数の実行委員が参加したイベントとなった。初めての取り組みで、さまざまな反省点があるが次に繋げていきたい。

委 員 長 これまで、サークルフェアは事業概要に掲載されていなかったが、公民館事業でもあるので、掲載を検討してほしい。

4 なかまちテラス開館準備状況について

事 務 局 ハード面については、完成して引き渡しも終わっている。現在は、館内の配線工事や備品の設置を行っている。地下と1階、2階の一部が公民館になっており、1月の公民館運営審議会では、内覧会を行う予定である。

ソフト面では、開館に向けてリンクスプロジェクトを実行しており、未来づくりワークショップと新しいサークルを作ろうという事業を行っている。

未来づくりワークショップについては、テーマごとに7回開催し、全体会を4回開催した。その後は実行委員会が組織され、6つのテーマに分かれて活動している。

その他に、なかまちテラスをPRするものとして、11月2日に「あっちこっちナカマッチ」イベントを中央公民館で開催し、さまざまなキャラクター作りを行った。120体ほどのキャラクターが完成し、今後は、にじバスのラッピングや小平駅の大看板でPRしていく予定である。

また、開館100日前イベントを、12月4日に仲町公民館で行った。「あっちこっちナカマッチ」で作ったキャラクターを、トートバックにプリントして配布するイベントを中心に、開館に向けて気運を盛り上げるイベントを行った。

今後は、閉館イベントとして、3月1日に仲町公民館で「仲町公民館ありがとうイベント」を行う予定である。また、3月8日には、実際に鍵を閉めることになるが特にセレモニーを行う予定はない。

また、3月22日、29日の2日間で開館イベント開催する。内容については、

実行委員会で話し合っており、まだ決まっていない。

なかまちテラスの運営については、開館時間は、これまでと同様に9時から22時である。27年度末までは試行として、月曜日も開館し、毎月第3木曜日を施設全体の休館日とする。

委員 私も、なかまちテラス未来づくり実行委員会に関わっているので、補足する。閉館、開館イベントについては、地元の小中学校の吹奏楽なども参加し、盛り上げていく予定である。

なかまちテラス未来づくり実行委員会では、さまざまなことが話し合われているが、公民館の講座からサークル化するという流れにとどまらず、受講者が学びを地域へ還元するという意識をもつような企画を考えている。また、子ども向けには、本物に触れることを体験し、感動を覚える企画を考えている。これらを実行することにより、現在の仲町公民館で活動しているサークルも活性化し、実行委員会と既存のサークルが一緒になかまちテラスの未来づくりができれば良いと考えている。

この他に、なかまちテラス コミュニティカレンダー試行版を作成している。公民館・図書館のほか、地域の小中学校や保育園・幼稚園の行事が掲載されている。この発行により、なかまちテラスをさらにPRしていく。

(質疑応答)

委員 なかまちテラスでは、図書館と公民館の事務室が共用になるとのことだが、職員体制はどうなるのか。カフェの運営にはどのような事業者が入るのか。

事務局 1階にカウンターがあり、その内側が公民館事務室となる。公民館職員は担当係長1名、嘱託職員は図書館が所管する。図書館事務室は地下となり、図書館職員は5人。カフェについては、福祉団体により運営することが予定されている。

委員 武蔵野美術大学の近くに小川町一丁目地域センターがあるが、指定管理者だと利用者との垣根があるように感じるが、是非そのように感じることはないようお願いしたい。

5 平成26年度 東京都公民館連絡協議会職員部会・委員部会報告について
事務局、委員より、資料3、4-1~3について説明した。

6 平成 26 年度 第 55 回関東甲信越静公民館研究大会について
委員より、資料 5 について説明した。

7 公民館のあり方検討状況について

事務局 前回、議題に上がった諮問については資料 6 のとおりである。これまでの公民館のあり方検討状況については、4 月から 11 月まで毎月 1 回計 8 回、検討会議を行った。9 月までは、主に地域社会資源となる学校や民生委員など地域リーダーとの関係づくりを行ってきた。10 月からは、公民館事業企画委員会として連携を図る相手先を検討した。その結果、自治会、自主防災組織、学校、放課後子ども教室、青少年対策地区委員会、民生委員児童委員、地域包括支援センターの 7 つの地域社会資源と連携を図るべきとの結論を得た。これらの地域社会資源に、公民館事業企画委員会に入ってもらいたいという認識を各館で共有した。

今後は、事業企画委員会の運営方法や意見交換会との関係を含めて検討していく。今年度は、モデル館を 1 館設定する。

委員長 諮問については、来年の 9 月までに答申をする。次回は、もう少し内容について、質疑も含めて意見交換をしたい。また、公民館事業企画委員会との関係において、公民館運営審議会がどのような役割を担うべきか、委員から提言を提出したいと思う。

8 その他

次回は、1 月 20 日（火）午後 3 時より、仲町公民館講座室にて開催する。